

平成26年 頭所感

国民生活に密着し お役にたつことで繁栄

日本内装材連合会会長 篠田明男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は官公庁始め関係団体並びに全国の会員団体各位より多大なご指導、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

昨年日本内装材連合会第59回全国大会は、東京内装材料協同組合役員各位の献身的なご努力と、全国の会員各位のご協力により、予想を上回る大変盛大な催しを行うことができました。

今年の第60回の記念すべき節目の全国大会は、九州内装材組合がご担当下さり、全国の会員各位のご活躍の成果の審議・報告等と、また、風光明媚な九州の地の観光・おもてなしをご準備頂いております。全国会員各位のご協力により、今年の大会も大きな成功を収めますよう念願いたしております。さて、わが国の経済は、アベノミクスと呼ぶ政策により、若干ながら上向きになっているとされています。長い不況からの脱出が期待されていますが、私どもインテリア産業は、会員各位がご努力なさっている通り、景況の如何に関らず、国民生活に密着し、そのお役に立つことで健全に繁栄・発展する道を歩んでおります。

この努力は地道で、目立って華麗に咲き誇る成果などの期待はもてませんが、一步一步着実に築き上げた基盤は、強固で安定した産業を構築できるものと存じます。幸い、政府の政策も、建設産業の下請、孫請等の部分にも注意が払われ、社会保険料の積算を必ず実施するよう指導されるなど、若い世代が建設産業に入職したくなる環境整備に注力しておられます。

着実に繁栄する業界建設は、このような国の施策も後押ししてくれる大変有り難い状況があり、実現・構築のチャンスを迎えていると思われれます。会員各位の益々のご尽力をお祈り申し上げ、合わせて、関係各位の一層のご指導・ご協力をお願いいたしまして、年頭のご挨拶を申し上げます。

壁装新聞(第406号)より引用